



平成 26 年 12 月 15 日

各 位

会 社 名 虹 技 株 式 会 社  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 堀 田 一 之  
( コー ド 5603 東 証 第 1 部 )  
問 合 せ 先 責 任 者 取 締 役 経 理 部 長 谷 岡 宗  
( TEL 079-236-3221 )

平成 2 7 年 3 月 期 第 2 四 半 期 累 計 期 間 の 業 績 予 想 と の 差 異 に 関 す る お 知 ら せ

当社は平成 2 6 年 5 月 8 日 に 公 表 し た 平 成 2 7 年 3 月 期 第 2 四 半 期 累 計 期 間 ( 平 成 26 年 4 月 1 日 ~ 平 成 26 年 9 月 30 日 ) の 業 績 予 想 値 と 本 日 開 示 の 実 績 値 に 差 異 が 生 じ ま し た の で 、 下 記 の と お り お 知 ら せ い た し ま す 。

記

1. 平成 2 7 年 3 月 期 第 2 四 半 期 ( 累 計 ) 期 間 連 結 業 績 予 想 数 値 と 実 績 と の 差 異  
( 平 成 26 年 4 月 1 日 ~ 平 成 26 年 9 月 30 日 )

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前 回 発 表 予 想 ( A )	百万円 9,800	百万円 440	百万円 420	百万円 220	円銭 6.66
実 績 値 ( B )	9,893	422	337	145	4.40
増 減 額 ( B - A )	93	△17	△82	△74	—
増 減 率 ( % )	1.0	△3.9	△19.7	△33.9	—
( ご 参 考 ) 前 期 第 2 四 半 期 実 績 ( 平 成 2 6 年 3 月 期 第 2 四 半 期 )	8,509	231	233	115	3.50

(注) 前期第 2 四半期実績の数値は、短信を訂正した後の数値によっております。

2. 平成 2 7 年 3 月 期 第 2 四 半 期 ( 累 計 ) 期 間 個 別 業 績 予 想 数 値 と 実 績 と の 差 異  
( 平 成 26 年 4 月 1 日 ~ 平 成 26 年 9 月 30 日 )

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前 回 発 表 予 想 ( A )	百万円 8,200	百万円 250	百万円 150	円銭 4.54
実 績 値 ( B )	8,053	171	114	3.48
増 減 額 ( B - A )	△146	△78	△35	—
増 減 率 ( % )	△1.8	△31.6	△23.4	—
( ご 参 考 ) 前 期 第 2 四 半 期 実 績 ( 平 成 2 6 年 3 月 期 第 2 四 半 期 )	6,984	20	51	1.55

(注) 前期第 2 四半期実績の数値は、短信を訂正した後の数値によっております。

3. 差異が生じた理由

当第 2 四半期連結累計期間の連結業績につきましては、天津虹岡鑄鋼有限公司の業績が好調に推移し、売上高は、当初計画を上回りましたが、インドネシア共和国において新たに立ち上げたHK-PATI社の事業開始の初期コストが想定を上回り、持分法による投資損失が発生したことと個別業績予想数値と実績との差異の理由により、営業利益、経常利益、四半期純利益とも当初の計画を下回りました。

個別業績につきましては、売上高は、ロールの売上の一部が工程遅れにより下期にずれ込み、当初の計画を下回りました。損益面につきましては、ロール売上のずれ込み、人件費、資材価格の高騰による環境装置事業の収益悪化等により、営業利益、経常利益、四半期純利益とも当初の計画を下回りました。

なお、通期の業績予想につきましては、今後の為替動向、需要動向等の外部環境の影響が不透明であるため、現時点において平成26年5月8日に公表致しました予想数値に変更はありません。今後、業績予想数値に修正が必要と判断された場合、速やかに公表致します。

(注記) 上記の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであります。

実際の業績は、今後様々な要因により、当該業績予想とは異なる結果となる可能性があります。

以上



平成 26 年 12 月 15 日

各 位

会 社 名 虹 技 株 式 会 社  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 堀 田 一 之  
( コー ド 5603 東 証 第 1 部 )  
問 合 せ 先 責 任 者 取 締 役 経 理 部 長 谷 岡 宗  
( TEL 079-236-3221 )

平成 2 7 年 3 月 期 第 2 四 半 期 累 計 期 間 の 業 績 予 想 と の 差 異 に 関 す る お 知 ら せ

当社は平成 2 6 年 5 月 8 日 に 公 表 し た 平 成 2 7 年 3 月 期 第 2 四 半 期 累 計 期 間 ( 平 成 26 年 4 月 1 日 ~ 平 成 26 年 9 月 30 日 ) の 業 績 予 想 値 と 本 日 開 示 の 実 績 値 に 差 異 が 生 じ ま し た の で 、 下 記 の と お り お 知 ら せ いた し ま す 。

記

1. 平成 2 7 年 3 月 期 第 2 四 半 期 ( 累 計 ) 期 間 連 結 業 績 予 想 数 値 と 実 績 と の 差 異  
( 平 成 26 年 4 月 1 日 ~ 平 成 26 年 9 月 30 日 )

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前 回 発 表 予 想 ( A )	百万円 9,800	百万円 440	百万円 420	百万円 220	円銭 6.66
実 績 値 ( B )	9,893	422	337	145	4.40
増 減 額 ( B - A )	93	△17	△82	△74	—
増 減 率 ( % )	1.0	△3.9	△19.7	△33.9	—
( ご 参 考 ) 前 期 第 2 四 半 期 実 績 ( 平 成 2 6 年 3 月 期 第 2 四 半 期 )	8,509	231	233	115	3.50

(注) 前期第 2 四半期実績の数値は、短信を訂正した後の数値によっております。

2. 平成 2 7 年 3 月 期 第 2 四 半 期 ( 累 計 ) 期 間 個 別 業 績 予 想 数 値 と 実 績 と の 差 異  
( 平 成 26 年 4 月 1 日 ~ 平 成 26 年 9 月 30 日 )

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前 回 発 表 予 想 ( A )	百万円 8,200	百万円 250	百万円 150	円銭 4.54
実 績 値 ( B )	8,053	171	114	3.48
増 減 額 ( B - A )	△146	△78	△35	—
増 減 率 ( % )	△1.8	△31.6	△23.4	—
( ご 参 考 ) 前 期 第 2 四 半 期 実 績 ( 平 成 2 6 年 3 月 期 第 2 四 半 期 )	6,984	20	51	1.55

(注) 前期第 2 四半期実績の数値は、短信を訂正した後の数値によっております。

3. 差異が生じた理由

当第 2 四半期連結累計期間の連結業績につきましては、天津虹岡鑄鋼有限公司の業績が好調に推移し、売上高は、当初計画を上回りましたが、インドネシア共和国において新たに立ち上げたHK-PATI社の事業開始の初期コストが想定を上回り、持分法による投資損失が発生したことと個別業績予想数値と実績との差異の理由により、営業利益、経常利益、四半期純利益とも当初の計画を下回りました。

個別業績につきましては、売上高は、ロールの売上の一部が工程遅れにより下期にずれ込み、当初の計画を下回りました。損益面につきましては、ロール売上のずれ込み、人件費、資材価格の高騰による環境装置事業の収益悪化等により、営業利益、経常利益、四半期純利益とも当初の計画を下回りました。

なお、通期の業績予想につきましては、今後の為替動向、需要動向等の外部環境の影響が不透明であるため、現時点において平成26年5月8日に公表致しました予想数値に変更はありません。今後、業績予想数値に修正が必要と判断された場合、速やかに公表致します。

(注記) 上記の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであります。

実際の業績は、今後様々な要因により、当該業績予想とは異なる結果となる可能性があります。

以上